

---

○議長（松崎 勲君） 皆さん、本日が平成24年第1回定例会の最終日となります。  
よろしくお願します。

---

#### ◎開議の宣告

○議長（松崎 勲君） ただいまから平成24年第1回長南町議会定例会第9日目の会議を開きます。  
(午後 3時00分)

---

#### ◎議事日程の報告

○議長（松崎 勲君） 本日の日程はお手元に配付したとおりです。

---

#### ◎諸般の報告

○議長（松崎 勲君） 日程第1、諸般の報告をします。  
総務常任委員長、森川剛典君外2名から議員派遣調査報告書が3月1日に提出されております。ついては、  
本日の会議で報告させます。  
以上で諸般の報告を終わります。

---

#### ◎議案第20号の委員長報告、質疑、討論、採決

○議長（松崎 勲君） 日程第2、議案第20号 平成24年度長南町一般会計予算についてを議題とします。  
本案について委員長報告を求めます。  
予算特別委員長、丸 敏光君。

[予算特別委員長 丸 敏光君登壇]

○予算特別委員長（丸 敏光君） ご指名をいただきましたので、予算特別委員会に付託されました議案第20号  
平成24年度長南町一般会計予算についての審査の経過と結果について報告をいたします。

本委員会は、3月2日の本会議において設置され、議長の招集により当日第1回目の会議を開き、石井臨時  
委員長のもとに委員長の互選が行われ、私、丸 敏光が委員長に選任されました。続いて副委員長の選任を行  
い、板倉正勝委員が副委員長に選任されました

続いて、審査の方法等について審議した結果、平成24年度一般会計予算の内容は極めて複雑多岐にわたって  
おり、慎重かつ詳細に審査する必要があると認め、総務、産業建設、教育民生の3つの分科会を設置し、審査  
することに決定しました。

総務分科会は森川剛典主査、産業建設分科会は加藤喜男主査、教育民生分科会は松崎剛忠主査のもと、地方  
財政を取り巻く厳しい環境の中、町長が施政方針で述べている予算編成の方針どおり、個々の施策や事業が数  
値的にどのように具体化され、多種多様な町民要望に迅速かつ的確に対応しているか、また、健全財政維持に  
いかに留意されているかを着眼点とし、3月5日に執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行ったところ  
であります。

第2回目の委員会は、3月6日に会議を開き、各主査から分科会の審査の経過と結果について報告が行われ、種々の意見・要望がありました。

それらの諸点については、当局の適切な措置を期待するものであります。

なお、主な意見・要望事項について以下申し上げます。

1、防災行政無線は、非常緊急時における通報及び広報活動を円滑にして、住民福祉の増進や安全・安心を目的に設置しています。現在使用しているアナログ式戸別受信機が製造されていないことから、速やかにデジタル化に移行し、町民生活に支障のないように努められたい。

2、地上デジタル放送の難視対策は、一日も早くデジタル放送が視聴できる環境整備を図るとともに、高齢者世帯の多い状況を踏まえ、施設完成後においても、きめ細やかな対応に努められたい。

3、マスコットキャラクターについては、町の特徴を町内外に対し十分発信することができ、地域振興に寄与するような、また町民に愛され、親しみやすいキャラクターを作成するよう努められたい。

4、農業の推進に当たっては、耕作できなくなった農地を担い手となる営農組合や大規模農家等に集積し、集団化、大規模化を図り、農地の維持保全の施策である全農家参加型農業を推進するとともに、さらなる周知をされたい。

5、地籍調査事業の実実施計画策定に当たっては、長期にわたり、財政的、人力的負担が予想されるため、厳しい財政状況を踏まえ、町民への説明周知を十分行うなど、計画的かつ円滑な事業の推進に努められたい。

6、長南町学校規模適正検討委員会の提言を尊重し、（仮称）長南町学校適正配置検討委員会を早急に設置して、長南町の子供にとって、よりよい小学校のあり方について十分検討され、方向性を示されたい。

7、中学校の新学習指導要領による体育の授業では、武道が必修となるので、安全に配慮して、武道の伝統的な考え方や基本的な技等が身につくように工夫し、積極的に取り組まれたい。

8、各種検診を初めとした予防事業の重要性を十分に周知するとともに、各種予防教室等への積極的な参加を促し、町民の健康増進と疾病予防に努められたい。

以上のとおり本特別委員会は意見・要望事項を付し、議案第20号 平成24年度長南町一般会計予算については、賛成多数をもって原案のとおりこれを可決すべきものと決定しました。

平成24年3月7日、予算特別委員長、丸 敏光。

○議長（松崎 勲君） これで委員長報告は終わりました。

これから委員長報告に対する質疑を行います。委員長に対する質疑は審査の経過及び結果についての質疑に限られますので、ご了承願います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松崎 勲君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松崎 勲君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第20号 平成24年度長南町一般会計予算についてを採決します。

この採決は起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は原案のとおり可決すべきであるとするものです。

議案第20号 平成24年度長南町一般会計予算について、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（松崎 勲君） 起立全員です。

議案第20号 平成24年度長南町一般会計予算については原案のとおり可決されました。

---

### ◎議員派遣の調査報告について

○議長（松崎 勲君） 日程第3、議員派遣の調査報告についてを行います。

総務常任委員長より報告を求めます。

総務常任委員長、森川剛典君。

[総務常任委員長 森川剛典君登壇]

○総務常任委員長（森川剛典君） それでは、お手元に資料があると思いますが、調査報告を報告させていただきます。

平成23年11月25日・26日の2日間にわたり、総務・産業建設・教育民生の各常任委員会合同による議会閉会中の継続調査のため、防災対策に関する調査研究を目的として、静岡県長泉町及び静岡県地震防災センターを視察しました。

特に、長南町は自主防災組織の立ち上げが急務になっていることもあり、自主防災組織について長泉町の実績を踏まえた取り組みを学んでまいりました。

また、静岡市にある静岡県地震防災センターの視察では、東海地震が想定される静岡県の防災についての意識の高さや、取り組みが進んでいることがわかりました。

まず、長泉町の防災対策については、自主防災組織がマンションや集落など自治会の特性や大小の単位があっても全町にくまなく立ち上げられていること。また、その自主防災組織への住民加入率が90%を超えており、流動的な部分を除けば、実質的に100%に近い数字と言えるもので、長泉町の人口密度は1,500人/平方キロメートルあたりを超える中では、都市型であるにもかかわらず、この加入率は高いと実感させられました。

また、実際の防災訓練では地区割りされた3つの避難所に約25%の住民が参加しているということで、行政の関与や取り組みが長い年月の中で地道に進められてきた結果、住民の意識の高さにつながっていると思われました。

長泉町の自主防災組織は、近隣の市町村とも連携し、また県・国などの組織についても連絡がとれる体制になっており、いざというときの孤立感さはほど心配ないこともわかりました。

これらは、静岡県が来るべく災害に対して想定して、対策をしっかり立てて取り組んでいるからだと思われ

じました。

やはり過去に何度も災害が発生しており、それが歴史上の記録や教訓として残っているところは違うなという印象も受けました。現に、長泉町ふるさとカルタの中には「地震で湧き出た沼の湧水」などがあります。

今後は、長南町でも長泉町に倣い、自主防災組織の早期立ち上げはもちろん、防災想定マップにより自分たちが徒歩で行ける避難場所などの特定を進めていくべきだと思いました。

次に、静岡県地震防災センターの視察では、映像によるものや地震起震車などの体験コーナーもあり、災害時、特に津波の避難や対応が体感できました。

私たちの町では、なかなかこういう機会が得られませんが、今回の視察を通じ、災害時における被災状況の把握や住民の安否・避難場所の確認など、議員として何ができるかについて、常に意識しておくべきであると痛感いたしました。

以上、防災対策に関する調査研究に関する調査研究報告とさせていただきます。

なお、1点だけ補足させていただければ、町の防災担当者に協力をいただき、議員の皆様には長南町の防災確認という資料を配らせていただきましたので、あわせてご活用いただけるようお願い申し上げまして、報告を終わります。

○議長（松崎 勲君） これで議員派遣の調査報告については終わりました。

---

#### ◎閉会の宣告

○議長（松崎 勲君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

お諮りします。

本定例会の会議録調製に当たり、字句、数字、その他細部の整理を要するものについては、会議規則第45条の規定によって、議長に委任されたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松崎 勲君） 異議なしと認めます。

したがって、そのように決しました。

会議を閉じます。

平成24年第1回長南町議会定例会を閉会します。

(午後 3時15分)

---

#### ◎町長あいさつ

○議長（松崎 勲君） 町長からあいさつしたい旨の申し出がありましたので、これを許します。

町長、藤見昌弘君。

〔町長 藤見昌弘君登壇〕

○町長（藤見昌弘君） それでは、平成24年第1回定例会の閉会に当たりまして、お礼のごあいさつを申し上げたいと思います。

本定例会につきましては、2月28日から本日までの9日間の日程で開催され、ご提案申しあげました各案件

については、いずれも原案どおりご可決いただき、まことにありがとうございました。

議員の皆様方から賜りましたご意見・ご要望等につきましては、十分に協議・検討を加え今後の町政運営に反映させてまいりたいと考えておりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ここでご理解いただきたいこと、ご報告などを3点させていただきます。

まず、1点目でございますが、地方税法の一部改正に伴う町税条例の専決処分との関係でございます。

ご承知のように、地方税法の一部を改正する法案がただいま国会に提出され、審議中となっており、平成24年3月末に可決成立し、4月1日から施行となる見込みでございます。

したがって、町税条例の一部改正をお願いしなければならないわけでございますが、法律の性質からも、また施行期日の点からも急を要する案件として、専決処分に対応させていただきたく、ご理解を賜りたいと存じます。

次に、2つ目としまして、地上デジタル放送の関係でございますが、平成23年度に工事をいたしました地上デジタル放送受信対策施設からは、3月12日の午後1時から難視区域の世帯へ向けて、地上デジタル波を配信してまいります。3月12日からです。また、残りの難視区域におきましては、一日も早く地デジが見られるように整備してまいりたいと考えております。

次に、3点目でございますけれども、東日本大震災関連でございます。

昨年の3月11日には、世界に例を見ない大震災に襲われ、多くの尊い命が奪われました。この震災で犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表するため、3月11日午後2時46分に、町民の皆さんにサイレンを合図に黙禱をささげるよう呼びかけてまいります。どうかよろしく願いをしたいと思っております。

最後になりましたが、寒かった冬もようやく終え、春の気配が感じられるようになってまいりました。これから新年度に向けいろいろと行事が計画され、忙しい時期になると存じますが、くれぐれもご自愛の上、ご活躍されますようお願い申し上げます、閉会に当たってのごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（松崎 勲君） 皆さん、大変長期間にわたりご苦勞さまでした。

また、ありがとうございました。

（午後 3時19分）